

組合員活動 たまり場

鶴岡協立リハビリテーション病院の所属する「医療生活協同組合やまがた」には地域ごとに支部があり、組合員が集まって身体も心も元気にする、様々な活動を行っています。



12月のこの日は朝日支部のたまり場「ひだまり」へ当院、理学療法士が参加してまずは「冬と高血圧」についての学習会。その後は椅子に座った状態で、肩まわりから足裏まで伸ばすストレッチ、棒を使った体操や身体を大きく動かす筋力トレーニングを行いました。

皆さんは、「コグニサイズ」という言葉を耳にしたことはあるでしょうか。英語のコグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせるとコグニサイズと名付けられました。全身を動かす運動と頭を動かす問題を同時に行うことで認知機能の維持・向上の効果が期待できるといわれています。例えば…皆で輪になり、足踏みしながら順に野菜や動物の名前を言っていくなど、身体を動かしながら頭を使います。こういったコグニサイズをしたり、おしゃべりをしたり、和やかな時間を過ごしました。



寒さが厳しいこの季節、近所の皆さんで集まって心も身体もあたたまりませんか。

生き生きと暮らせる社会に

院長 茂木紹良

便利な機器や最先端技術の開発が進む一方で、新興再興感染症の出現、地球温暖化に伴う気候変動や地震など自然災害による大規模災害の発生、核戦争の危機等、人類は様々なリスクに直面しています。日本社会全体では高齢化が進み、社会保障のあり方だけでなく、若者の生きがい感の喪失や SDH、貧困問題が顕在化しています。地方の過疎化、人口減少は深刻で、健康・地域格差が広がっています。こうした中、地域包括ケアの一翼を担う私たちは、地域診断や他の法人、他の団体との連携を進めています。

また、私たちは、困窮しても声を上げられず、相談にも出かけられない人々のいる場所に積極的に出向く(アウトリーチ)、必要に応じて行政と交渉する(アドボケート)、ワンストップ総合相談窓口も展開しています。そして私たち一人一人が、人とコミュニティをつなぐ、リンクワーカーとなることを目指しています。

人々が笑顔で暮らせるように、そして多様な人々が共に手を取り合って、すべての人がその人らしい well being を享受しながら生き生きと暮らせる社会を拓くため、リハビリテーション・ケアを展開していきましょう。



水 焔

すいえん

第 21 号 2024.2

理念

障がいがあっても人間の尊厳を持って
生きることを支援する
リハビリテーション医療・介護をめざします

鶴岡協立リハビリテーション病院 広報委員会

〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字神明前38
TEL:0235-78-7511 FAX:0235-78-7515
URL: <http://y-mcoop.com/rehabili/>



歩行分析装置
(Gait Judge System)
を使用した歩行評価

理学療法士

《 装具外来 》

義肢装具士

理学療法士

水 焔 名前の由来は？

稲と生命の源である水と、文化の源である火との競演・融合する様を表現した「水焔の能」(榊引地区で毎年7月に開催:2005年病院広報誌開始時点での榊引町ホームページより)表題です。私達の医療・介護が地域に根付き、生命と文化を大切にしたいとの願いをこめて、この表題をつけました。

装具外来

そもそも 装具 とは…??

病気やケガなどにより手や足、腰や首など体の部位に痛み、損傷、麻痺等が生じた時に、治療や症状の軽減を目的として装着する器具です。また、治療、リハビリ、日常生活の補助等の目的で使用するものや、予防や矯正を目的とするものもあります。

当院の装具外来では主に足の装具の対応をしています。



当院 装具外来について

装具は身体機能・生活環境の変化に伴い不適合となることや、装具自体の劣化・破損が生じることがあります。不適切な状態での使用が続けば二次的な障害にも繋がるため、装具作製後のフォローアップは必要不可欠となります。そこで、当院では2018年11月より装具外来を開設しました。

診察は毎週金曜日の10:00から行い、リハビリテーション医、理学療法士、義肢装具士で対応しています。診察内容としては、装具の適合状態・破損有無の確認の他、足の麻痺や硬さ、こわばりなどの足部評価。また、歩行評価として「歩行分析装置(Gait Judge System)」を用いて筋電図測定も行っています。その後、状態に合わせた装具の調整・修理、必要時更生用装具の作製を進めています。また、自主トレーニング・生活指導の提案やポツリヌス外来への紹介、医療・介護サービスでのリハビリ機会を提案することもあります。



どんな時に受診が必要な…??

- ・ 足が赤くなる、傷ができる、痛みがでる
- ・ 装具が合わなくなった
(きつくなった・ゆるくなった、装具の中でかかとが浮くようになった、指が曲がってしまう)
- ・ ベルトがつかない、切れそう
- ・ 装具の劣化 (ひび割れ、金具の緩み、異音)

※ 上記以外でも何かお困り事あればご相談ください。

こうせいよう 更生用装具って?

装具は大きく分けて、“治療用装具”と“更生用装具”の2つに分かれます。治療用装具は疾患を患い、回復過程で医師が必要と判断した際に医療保険で作製されます。

更生用装具とは、身体状況が落ち着き、症状固定後の日常生活向上を目的とした装具であり、障害者総合支援法にて作製します。身体障害者手帳をお持ちの方は、原則として費用の1割を負担することで補装具費の支給を受けることができます。



パシフィックサプライ株式会社 HP より引用

歩行分析装置(Gait Judge System) について

表紙の写真は歩行分析装置(Gait Judge System)を使用して歩行評価を行う様子です。測定用の装具を着けた状態で歩行、その様子を撮影し、測定します。

これは歩行時の動画・足関節角度・足関節が発揮する力(トルク)・歩行時の筋肉の働き(筋電図)など、データをリアルタイムで表示・解析できるツールです。

従来歩行の評価は目視にて行われてきましたが、この装置により歩行に必要な筋肉の働きを計測し、より良い歩行の分析が可能となりました。

当院装具外来では、データを元に経時的变化の確認、患者さまへのフィードバックに活用しています。



装具外来診療日・連絡先

診療日：金曜日 10:00 ~ (予約制)

予約受付：平日 9:00 ~ 17:00

☎ 0235-78-7511

山形県鶴岡市上山添字神明前38

鶴岡協立リハビリテーション病院 装具外来